

機械不具合でもリース料

中小業者 大手メーカーに憤り

岐阜県各務原(かかみがはら)市の中小業者、永治司(ながや・つかさ)さん(64)は、大手メーカーの工作機械を使ってバイクの部品などを作っています。機械が不具合でも、なかなか直してもらえず、満足いく状態にならないにもかかわらず、リース料は毎月取られます。「大手メーカーには泣き寝入りするしかないのか」と憤っています。(岐阜県・我妻直志)

推薦されました。「小さな工場ですが、安全にバイクや自動車を作るパーツの開発を目標にやってきた」と言います。現在、不具合になっている機械は、2008年9月に導入したヤマザキマザック(本社・愛知県大口町)製のNC旋盤です。ヤマザキマザックは、欧米やアジアにグループ会社を置く、世界的企業です。導入直後から、部品の寸法が安定しませんでした。原因はグリスアップ不足(無給油状態)です。メーカー指導員が搬入前と搬入後のテストカット時に義務付けられているグリスアップなどを怠ったためでした。

切な処置だった」とわび、修理されました。昨年10月、こんどは永治さんが数値入力ミスで工具を固定する装置に衝突させてしまい、旋盤の中心が迷走する状態になったため、修理を依頼しました。ところが、マザック側が修理した翌日、中心がズレてしまいました。旋盤は中心に穴をあけるのが最低条件です。これで修理完了というなら、今後同じ不具合が発生した場合は「無償で作業すべきだ」と要求。マザック側は約束し、10回以上も調整や検査をしました。が改善されません。

「5カ月抗議して

今後の取引恐れ

各務原市には自動車関連などの中小企業が約3000社あります。各務原市の民主商工会会長で機械部品加工を営む加藤信夫さん(57)は言います。「大企業はボーナスを上げるようですが、下請け会社は工賃をカットされ、経営するのにやっこの状態。大企業は下請けにファクス一枚で単価の値下げを通知し、休みの直前に休み明けの納品を通じてくる。多くの中小企業が今後の取引を恐れて何も言えないでいます」



大手メーカーのNC旋盤の不具合を訴える永治さん。岐阜県各務原市



マザック側に修理を依頼しても、微調整などで修理完了だといわれました。「そんな修理では認められない」と言うので、「気に入らないなら、もう二度と来ません」。本社に再三にわたる抗議、5カ月後、ようやく常務取締役が「不適切なリース料はとられ

永治さんのブログは、<http://nagsed.shio.jp/>です。